

沖縄選抜(男子)7年連続V

ハンドボールの2005 JOCジュニアオリンピック大会最終日は9日、浦添市民体育館などで、沖縄選抜男子が決勝、勝つ。7年連続12回目の優勝を手にした。同大会は、男子は7年連続12回目、女子は2年ぶり7回目の全国出場となる。

九州JOCジュニアハンド

沖繩	24	13	11	8	19	大
長崎	21	19	熊			
鹿兒島	31	21	佐			
福岡	22	16	宮			
宮崎	22	16	宮			

△決勝トーナメント準決勝
△パト4位交流試合
△パト3位交流試合



男子決勝 沖縄選抜一長崎選抜 延長後半、ノータイムで7発スローを成功。30-29で長崎を破り、ガッツポーズで喜ぶ沖縄の高良耕平主将ら＝浦添市民体育館

勝利への執念 延長戦制す

勝利への執念で沖縄選抜が長崎選抜を上回った。大会2度目の対決となった長崎との決勝、同点で突入した延長戦は、一進一退の激戦となった。

29-29で迎えた残り15秒。好セーブリズムをつくったGK

ポイント

ゴールも動かない。同じくゴールを狙ったボールは入らず、残り5秒で最後のチャンスが沖縄に巡った。「絶対に点を取る。」

勝利は準決勝5得点、決勝6得点でチームを支えた高良耕平主将にかかった。「足が震えた」という緊張を振り払い、得意なゴール右下に狙いを定めてシュート。ボールはネットを揺らした。

後半、5点差をつけられながらも個人技を駆使して追い上げ、延長戦に持ち込んだ沖縄は半1-2-3の守備を0-6に下げ、休ませながら反撃を狙った。横井監督は「この勝利は次の飛躍につながる」と手応えを得た。選手たちが全国大会でも旋風を巻き起こす。宮城久

沖繩	5	3	4	長	29	長
長崎	25	15	佐			
宮崎	20	18	鹿			
福岡	23	11	熊			
宮崎	17	14	福			

△同決勝
△同決勝
△同決勝

女子 決勝で惜敗

ミスで崩れ 流れ変わる

「チャンスはたくさんあった。ミスから崩れてしまった」。沖縄選抜の前田千春主将は唇をかみしめた。準決勝で熊本を後半2点に抑えて快勝した沖縄は、高さのある大分を3-2-1の守備で抑え、速攻で得点を決め、連覇を狙う大分もエース平川愛里を中心に多彩な攻撃を見せる。前半15分過ぎ、大分のすごい攻めや守りに無ってしまった沖縄は逆転を許す。相手は主導権を握られたまま9-10で折り返した。後半も悪い流れは変えられ



女子決勝 沖縄選抜一大分選抜 後半残り3分、沖縄の前田千春主将が、2点差に迫るジャンプシュートを決める＝東風平町営体育館

れない。パスやシュートでミスを連発、大分を勢いに乗せ、スクイアレーも決められた残り3分過ぎ、連続得点で1点差まで迫るが、なかつた沖縄。「力不足が雪辱を齎した」と東江功子監督。前田主将も「精神的に、もっと強くなりた」。全国大会に向けて、(仲原)